

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和8年 第3回定例会)

質問順位	4	4番議員	佐々木 教雄
質問事項1	ふるさと応援寄附金について		
質問の要旨	ふるさと応援寄附金は、地方自治体において自主財源の確保手段であり、目的をもって使用できる貴重な財源である。また地域経済においては売上増による活性化、寄附者においては自らの意志で使い道を指定できるという、納税者主権の体現にもつながる。 ふるさと応援寄附金は地方創生にとって貴重な財源であるが、近年、本町の寄附金受入額は令和5年度が9億4百万円、令和6年度が10億4千6百万円であったが、令和7年度は2億8千9百万円と激減し、大変厳しい環境にある。 ふるさと応援寄附制度に係る見直しと増収は町財政の喫緊の課題であるため質問する。		
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 寄附金受入額について ア 令和8年9月末までの中間見通しと、最終決算予想額を示せ イ 本年度当初予算（5億円）と最終決算予想額の差額に対し、今後の対応策を具体的に示せ		町長
	(2) 事務コストの適正化について ア 現在活用しているポータルサイト数と、その選定基準を示せ イ 各ポータルサイト運営会社との契約内容は他自治体と比較し適正か		町長
	(3) 地域経済とその波及効果について ア 地場産品を活用した返礼品の開拓状況と地場事業者への協力支援体制の現状を示せ イ 寄附金が具体的にどのような事業に活用され、どのような成果を上げたのか、町民に対する情報発信は万全と考えているか ウ 地元事業者の売上増加や雇用拡大の実例があれば示せ		町長